



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

智慧の光は大慈悲の音声となり

南無阿弥陀仏と喚んで下さる

今年も師走を迎えました。長い猛暑を愚痴こぼしながら、耐えしのびつつ、というところでしょうか？だが、毎日のように届けられる喪中葉書を眺めながら、他人事のように思っていたが、いつか我が事となる日が出てくる。じわり、じわりと、いや突然に……。そう思うと、「はやく後生の一大事を心にかけて」この蓮如上人の御催促を改めてわが心に受け止めねばなりません。過日、「親鸞和讃を歌う会」の大合唱を聞く機会を頂きました。平田聖子という作曲家が毎年のように各地で開く音楽会ですが、今年は若くして亡くなられた御子息の詩に楽曲がつけられ、本邦初公開とのこと、その御尊父さまのお誘いにより聞かせて頂いたのです。



「星々よ 蒼き久遠の光よ 導きたまえ我を導きたまえ 願わくは我真実の存在に目覚め この大生を全うせんことを」という詩がメロディに乗り、厳かな響きに心打たれました。父上様はこの楽曲を聴いて「お父さん、光は音になるんだよ」と鳥のさえずりのように聞こえた、と言われました。若い我が子に先立たれた悲嘆をご縁に、真剣に道を求めて親鸞聖人のみ教えに遇われた父君は、「煩惱だらけのこの身に阿弥陀さまの救いの光が届けられ、『南無阿弥陀仏』の音声になったのだと、このことを伝えんがためのあなたの大生であったのだ」と今気づかされた、と言われました。

☆行事ご案内☆

お内仏報恩講 12月7日(土) 午前10時半

庫裏仏間で お持ち帰り弁当とぜんざい用意
複数申込可。秋勤進で出欠と弁当数伺います
電話申込可。締切 11月末、奮ってご参加下さい



秋勤進 11月23日(祝) 午前8時より

行事、世話方、住職が手分けして巡回します
秋勤進とは初穂米の代りの懇志。皆様のご協力をお願い致します。留守の方は事前にご連絡下さい。

除夜の鐘 12月31日夜11時45分より

誰でも撞けます。ご家族揃って撞きにきて下さい

元旦会 1月1日午前9時 新年のスタートは寺で正信偈

毎夕5時の鐘撞き年中無休 子供に開放 ご褒美有

善正寺ホームページ下のQRコードで検索、過去の寺報

閲覧可、毎日更新ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』

大好評、開設16年4カ月で45万4千訪問、悩み相談可

一線会テレホン法話059-354-1454で3分法話3週連続

で善正寺担当 11/25~住職、12/2~若院、12/9~坊守

新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談下さい

法事場所でお困りの方本堂使用可、日時を寺に相談下さい

新共同墓「倶会一処」の石碑境内建立、銘板有ご相談下さい



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記



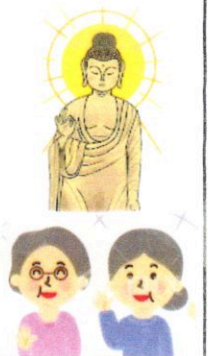
正覚をとらず、という阿弥陀如来の智慧の光は「南無阿弥陀仏」の呼び声(音声)となって喚びづめに喚んで下さっています。私も、コンサートでお念仏の大合唱の中で、先に往生された先達の方々の還相回向のお働きを感じ入ったことでもあります。

☆ 写真アラカルト ☆



坊守スケッチ

仏様が仲人の絆



今年の報恩講で、本堂で久しぶりに出合った人々が「最近は何所でも中々会う機会がないねえ。以前はどこでも井戸端会議をしたの」「そういえばAさんも施設に入られ、Bさんは遠くの娘さん宅に引っ越したわ」「最近はお葬式でも、家族葬で近所でも知らせないから、いつ死んだかも分からない」「コロナで地域の絆がプツンと切れて、寂しい時代になったわね」「こんな会話があちこちから聞こえてきました。「でも」ってお寺で顔を合わせてお喋りできるのは楽しいね」と、久しぶりに会った人達から笑顔がこぼれました。

とここで11月5日付毎日新聞で、宇都宮の千島蔵医師は「従来の薬物投与よりも、人と交流して、高齢患者の病状が改善した」と報告しています。アルコール依存症の87歳男性は、その根本原因は『孤独や貧困』にあると判断し、医療や薬だけでは不十分なので、患者に地域や福祉との繋がりを提案する『社会的処方』を勧めました。

男性患者は20年前に米穀店と自宅を全焼し、60年連れ添った妻を亡くし、50代息子も重い火傷を負いました。店を畳んでから自身も膝を痛め、外出が困難になりました。唯一の楽しみは日本酒を浴びるように飲むことでした。酒の飲み過ぎを指摘した医師に「やる

ことが無いから飲んでいい」と言い訳。医師の勧めで電動車椅子を使い、電話の応対が出来るようになり、人と交流する楽しみを知ると、酒量も減り肝機能も改善しました。

日本政府でも孤独がもたらす悪影響を改善する方法には、「社会的処方を活用」と明記しました。

私達の手取り早い方法として、冒頭の会話のように、孤独を改善する処方箋に、お寺参りは如何でしょうか。「仏様が仲人の絆」こそ、生涯あなたの力強い支えになることでしょう。

カンパありがとう

- T.S様 西寺様 辻様 水谷様 正親様 加藤様 閑崎様 小西様 箕様 前川様 鏡様 矢田様 感謝!



お知らせ

※12月7日(土)午前10時半「お内仏報恩講」持ち帰り弁当とせんざい用意複数の申込OK 秋勧進で出欠と弁当の数を伺います 締切11月末 電話の申込可 奮ってご参加下さい!

若坊守のごこと日記No.118

今年度から我が娘の小学校の茶道クラブのお手伝いしています。近隣の遠州流茶道連盟理事・中川宗津先生は、仏教婦人会員として、昨年当寺で開催した『抹茶でまったりサロン』でお世話になりました。改めて縁を繋いで頂くことになりました。二か月に一回のクラブ活動で、普段和室や正座、お抹茶に馴染みがなく、興味津々な子ども達ばかりです。中川先生はわかりやすく、親しみやすく教えて下さいます。

十一月には地区文化祭で小学校の和室でお茶席を催しお手伝いに参りました。百五十個もの美しい和菓子に圧倒されましたが、茶道クラブと有志の子ども達にお運び役を任せ、私はひとすらすらお菓子の準備、お茶碗洗い、時々お茶点をさせていただきました。「お茶をどうぞ」「お下げいたします」と相手の顔を見て言うことは難しいですが、子ども達は練習の成果を発揮して頑張りました。最後のお菓子が運ばれた時には、「やったー、売り切れた」と喜び子ども達は清々しい顔でした。運営には地域の方々にお世話になり、子ども達は家族や友達をお茶席に招待し、誰もがたくさんの人に支えられていることを実感した一日でした。



俳壇

窓ふきや香り漂う金木犀 釋妙水
本堂に作品搬入秋日和
里芋や葱みそかけて小びり食う
高原に寝ころび仰ぐ天の川 釋樂邦
小さき手に落葉摘まんてプレゼント
薄き陽も風も今日より冬に入る
冬めくやそつと唇紅をさし 釋住安
ここからは通行止めと蜘蛛の糸
ごきぶりのピカピカ光る背中かな
空泳ぐ皇帝ダリア丈高し 釋妙梅
張り替えた障子に灯点もし刻忘れ
埃みな叩き出したり年の暮れ
文化祭劇のマントの紐固し 釋秀龍
敬老のパウムクーヘン入刀す
改札を出れば冷やか朝の町
報恩講老いも若きもお念仏 釋清風
熱れ柿も渋柿もまた陽の恵み
喪中葉書見入り黙然合掌す

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」372号をお届けします。◇いつまでも暑かったせいか、慌ただしい師走入り、「少年老い易く学成り難し一寸の光陰軽んずべからず・・・」という漢詩が思い浮かぶ此頃。◇激しく乱暴な選挙演説が横行、世相の荒廃嘆かわしく思うのは高齢者だけなのかどうか?◇他方、今年の報恩講、悪天候にもかかわらず、らも沢山お参り頂き、また連日ご聴聞に馳せ参じて下さる熱心なお同行さんもあり有難く感謝の次第です。◇今年も拙寺報、「愛読賜り、有難うございました。よき新年お迎え下さい。合掌。

今年も師走を迎え、時の経つ早さを実感します。先日「アイミタカイ」という映画を見ました。聞き慣れない言葉ですが、漢字では「相身互い」と書き、「お互いに助け合う」という意味です。最近の「困った時はお互い様」という言葉を殆ど聞きません。傍に困っている人が居ても「自分には関係ないわ」と見て見ぬ振り。一方自分が困っている時には、相手の所為にして責任を押し付けます。「田頃の種類まきかしてないから自業自得」と見捨てることもできません。昔の人は農作業や冠婚葬祭を通してまさかの時の「助け合いの心」を培いました。現代はそういう人間関係を教える場が少なく、全ておカネで済ます業者任せです。しかし災害に直面した時にはかつての「人間力」が試されます。家族が縮小し、地域が高齢化して、身近な助け合いがあてにならない。今こそ私達は「先祖が築いてきた「お互い様」の心を取り戻すことが必要ではないでしょうか？現代でもおカネでは充たされない悲しみや寂しさがあがり誰かに寄り添ってもらうことで救われる人が大勢います。この映画は桑名や四日市で撮影されたのでとても親近感が持てました。私達も「アイミタカイ」の心を取り戻したいものです。ところで12月7日(土)午前10時半より「お内仏報恩講」です。お弁当やせんべいを用意しますのでお誘い合わせの上お参り下さいます。人合掌

令和6年12月

善正寺坊守拜